



やってみたらできちゃった!

Let's Try! データダウンロード

vol. 6 バックアップについて

予備があれば何かと安心!

「パソコンが急に動かなくなった!」という経験はありませんか? パソコン本体は何とか復旧できたのに、「保存データが壊れてしまった」というのもよくある話。そういうトラブルに備えて、データの予備「バックアップ」を取っておきましょう。

各種教材対応データのダウンロードはこちらから

<http://www.roland.co.jp/school/>

「音楽教室トップ」

会員専用ページにログインする



※ログイン方法などは本誌2月号に同送の「データダウンロード購入クイックマニュアル」をご参照ください。なお、クイックマニュアルは、ローランド・ミュージック・スクールウェブサイト会員専用ページから無料でダウンロードできます。

お知らせ



各種教材対応データの
フロッピーディスクでの販売終了について

これまで本誌でもお伝えしてきた通り、現在フロッピーディスクでご提供している各種教材対応データの販売は2011年3月で終了とし、すべてのデータはアトリエビジョン株式会社ウェブサイトからのダウンロード販売となります。

- 「Music Pieces」対応 SMF ミュージックデータ (フロッピーディスク) 予約販売
▶▶▶ 2011年1月終了 ※予約販売受付は終了しています。
- 教材付属および別売り SMF ミュージックデータ (フロッピーディスク) 販売
▶▶▶ 2011年3月終了 ※在庫がなくなり次第、販売終了となります。

バックアップって何?



パソコンに保存したデータなどを記録メディアにコピーし、複製を取っておくことを「バックアップ」と言います。バックアップを取っておけば、突然のトラブル発生のおきもデータは安全です。

パソコンの操作ミスでデータを消してしまったり、データ内容を間違えたものの上書きしてしまったという悲しい経験をしたことのある人は多いと思います。気をつけていても、「ついうっかり……」は誰にでもありますね。また、自分のミスではなくても、パソコンが故障したり、コンピューターウイルス(コンピュータに入り込み被害をもたらす悪質なプログラム)に感染し、パソコン内のデータがすべて消えてしまうという事故もあります。

そういったトラブルがあっても、大切なデータやプログラムの予備があれば安心。この「データやプログラムの予備を取っておくこと」または「複製したデータのことをバックアップ」と言い、その行為のことを「バックアップを取る」と言います。「備えあれば憂いなし」ということです。

パソコンに内蔵されているハードディスクにバックアップを取っておくこともいいのですが、肝心のパソコンが壊れてしまうと、バックアップしたデータを取り出すことができなくなってしまいます。ですから、CD-R や USB メモリなどの大容量記録メディアにバックアップを取っておくと、より安心です。

こんなときに備えて……



ファイルやデータの破損

データの消失や操作ミスによる上書き



パソコンの故障



ウイルス感染

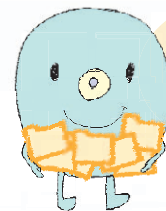
その他

- パソコンを購入時の状態に戻す(初期化する)場合
- パソコンを修理に出す場合 など

バックアップを取っておけば安心!

バックアップを取る際の記録メディアは、容量の大きなCD-RかUSBメモリをおすすめします。

フロッピーディスクは容量が小さいので、音楽データや写真データを複数保存することができません。



バックアップはほくらにお任せ!



量たくて持てんわい

ダウンロード購入データのバックアップを取るメリット

皆さんは、アトリエビジョンウェブサイトからダウンロードした圧縮ファイルをどうしていますか? 「解凍した後、ごみ箱に入れちゃった」という方、ごみ箱の中身を削除する前ならすぐに取り出して記録メディアにバックアップを取ってください!

解凍したデータが壊れたりしてしまっても、圧縮ファイルを解凍すれば元通りのデータが手に入ります。つまり、バックアップを取っておけば、再度ダウンロード購入しなくてもOKということです。教材付属のフロッピーディスクの場合は、破損してしまったら教材まで買いなさなければなりません。それに比べればとても経済的です。

※圧縮ファイルについては、本誌4月号P.18~19をご参照ください。

ダウンロードは1回だけでいいんです!



記録メディアにバックアップを取ってみましょう！



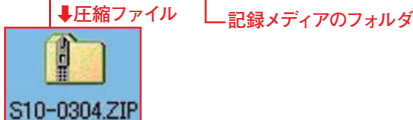
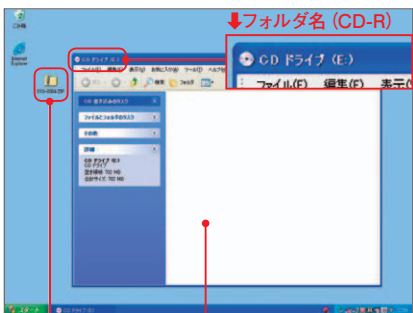
ここでは Music Pieces の購入データ (全曲セットダウンロード) の圧縮ファイルを例に、記録メディア (USB メモリ、CD-R) へバックアップを取る手順をご紹介します。

1 パソコンにバックアップ用の記録メディアを挿入し、そのフォルダを開きます。

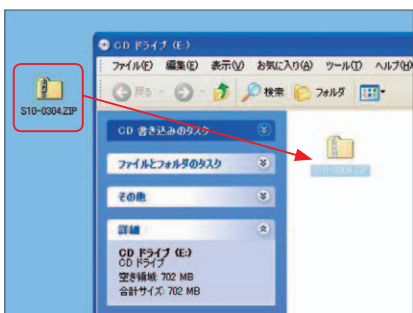
※ 下の画像は CD-R のウィンドウです。

▼デスクトップ画面 (Windows XP)

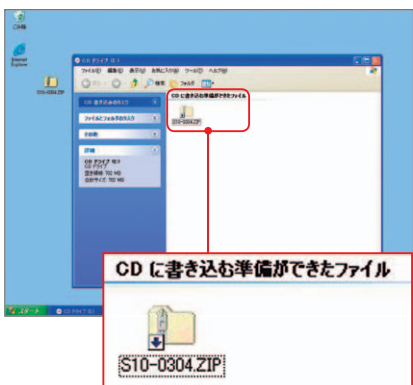
パソコンの OS によって手順や開くウィンドウが異なる場合があります。



2 バックアップを取っておきたいデータやファイルを、記録メディア側のフォルダへドラッグ&ドロップします。



3 これでデータやファイルを記録メディアに書き込む準備ができました。

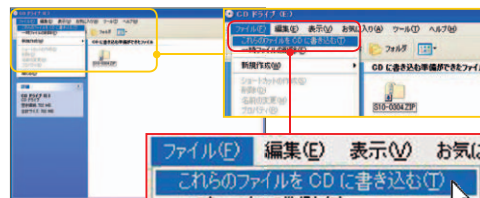


4 データやファイルを書き込む手順は記録メディアによって違います。ここからは CD-R と USB メモリのそれぞれの場合に沿って解説します。

CD-R の場合 (Windows XP)

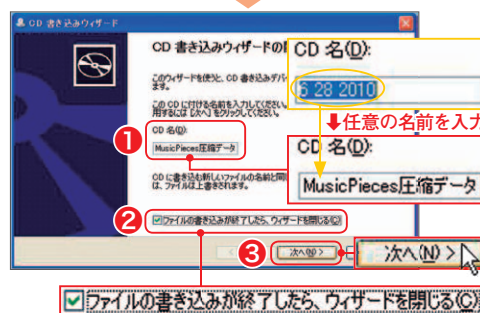
CD-R のウィンドウ上にあるメニューの「ファイル」から、「これらのファイルを CD に書き込む」をクリックします。

★ CD-R への書き込みは 1 度しかできません。また、CD-R に書き込んだデータの削除や編集 (上書き) はできません。

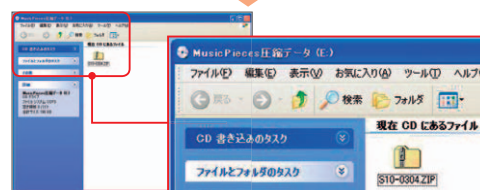


パソコンのデスクトップに、ファイルを CD-R に書き込むためのウィンドウが表示されます。

- 1 CD 名には日付が入力されています。データの内容がわかるよう入力直しましょう。
- 2 「ファイルの書き込みが終了したら、ウィザードを閉じる」の前にある四角の枠 (□) をクリックしてチェックマークを入れます (☑)。
- 3 「次へ」をクリックすると、自動的に CD-R へコピーしたデータが書き込まれます。



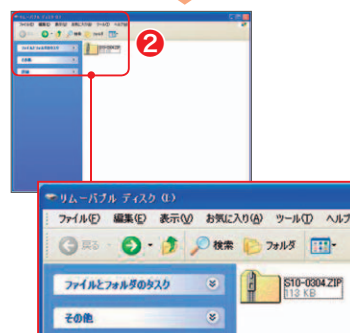
書き込みが終わると、ウィンドウが自動的に閉じます。これで CD-R への書き込みは完了です。CD-R にデータが正しく書き込まれているか、CD-R のフォルダを開いて中身を確認しましょう。



USB メモリの場合

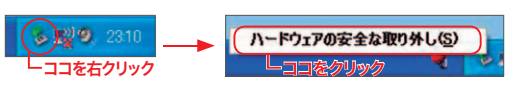
USB メモリには、データやファイルをドラッグ&ドロップするだけで、自動的にメディアにコピーされます (1)。USB メモリにデータが正しく書き込まれているか、USB メモリのフォルダを開いて中身を確認しましょう (2)。

★ USB メモリは何度でもデータなどの書き込みや編集 (上書き)、内容の削除をすることができます。逆に言えば、操作を誤ると上書きしたり削除してしまうことがあるということなので、注意してください。



パソコンから USB メモリをいきなり抜かないで！

USB メモリをパソコンから抜くと中のデータが破損する場合があります。安全に取り外すためには、まずデスクトップの画面右下にあるマーク (🔌) を右クリックすると「ハードウェアの安全な取り外し」が表示されるので、そこをクリックします。するとデスクトップ上にウィンドウが表われるので、その指示に沿って USB メモリの動作を停止させてから抜き取りましょう。



注意

ダウンロードデータにも著作権があります！

データやファイルのバックアップが、パソコンを使って作業をするうえでとても安心な「備え」であることをここまで説明しました。しかし、皆さんもよくご存知のように、ダウンロードで購入したデータであっても楽曲や楽譜の著作権はあります。

アトリエビジョンウェブサイトからダウンロード購入したミュージックデータを CD-R などにコピーし複製を作ることは容易にできますが、許されているのはあくまで個人使用の範囲内です。レッスンで使うデータとして生徒に渡すことは著作権侵害になります。手軽にできることだからこそ、音楽教室の講師としてしっかりとした判断での使用を心がけましょう。

※ 音楽著作権については、本誌 2009 年 7 月号～12 月号掲載の「音楽著作権」誌上講座 (全 6 回連載) をご参照ください。また、財団法人日本音楽著作権協会 JASRAC (URL = <http://www.jasrac.or.jp/>) のウェブサイトも合わせてご参照ください。